

令和元年度(2019年度)宝塚市きずなづくり推進事業結果評価表

No.	申込団体名	確定額 (円)	自己評価		評価	
			事業内容	効果	関係課意見	審査会意見
1	末成町自治会	26,000	<p>日時:10月26日(土)10:00~13:00 場所:末成小学校南館 多目的ホール 参加人数:91人(大人59人、子ども32人) ゲスト:操り人形劇「うれしたのし人形劇団」3人による「一寸法師」 参加費:参加者全員が自治会員のため参加費はゼロ 内容:今回、初めての取り組み 自治会長の開会あいさつのおと、操り人形劇「うれしたのし人形劇団」3人による「一寸法師」を約1時間観覧して、みんなでカレーを食べて、高齢者はあやとり、子どもたちは塗り絵などで楽しんでもらい、大人が塗り絵を子どもに教え、綾取りを高齢者から教えてもらった。最後副会長のあいさつで閉会した。</p>	<p>・町内の高齢者と幼児が一つの部屋で「操り人形劇」を見て楽しんだあとにカレーライスをみんなでいただくことで、三世代の交流で絆が深まった。 ・一人暮らしの高齢者はカレーを家で作ることもないので喜んでいただけた。 ・自分の孫だけでなく近所の子とも達とも交流ができるし、子供たちには塗り絵も楽しんでもらい、高齢者はあやとりなどを若い母親に教えていた。 ・高齢者に外出する機会を持ってもらい、健康寿命に繋がられた。 ・自治会の総会などには興味がない人にも参加していただけたし、役員との交流も深められた。</p>	<p>(地域福祉課) 多世代が、気軽に楽しみ参加できるイベントを通じ、地域の顔の見える関係づくりができていていると思います。また、自治会活動などに、興味の無い方が自治会役員と交流を持つことで自治会に対しての思いが変わり、自治会活動に対して興味が出て次世代の担い手発掘に繋げる事が期待できる良い事業です。</p>	<p>・当団体は、今回、初めての事業申請にあたって、本事業の目的・意義に合ったイベントを企画されて、実際に幅広い世代と多数の参加人数を集められ、交流と絆を深められたことを高く評価します。これをきっかけに今後も自治会の日常のつながり・交流、さらには見守り・助け合いの活動へと広がることを期待します。 ・幅広い年代間の地域の方々交流されている様子が浮かんて来る。若い世代の自治会に対する理解を深めてもらう一助になるよう、期待します。 ・自治会員の方々の自治会への帰属意識や自治会活動への興味を喚起することができ、自治会が活性化する有意義な活動をしていただきました。 ・多くの参加を得て多世代交流の事業が行われたことで、地域のつながりづくりが進んだと思います。Withコロナの新しい生活様式の中でも、お互いに気にかけて関係づくりが進むよう、是非次の活動展開をお願いします。 ・多世代での交流は、地域の活性化や安心安全のまちづくりにもつながります。子どもが32人だったのは、少し少ない気がしますが、今後の取り組みに期待いたします。</p>

No.	申込団体名	確定額 (円)	自己評価		評価	
			事業内容	効果	関係課意見	審査会意見
2	宝塚・防災リーダーの会	44,000	<p>令和2年2月15日(土) 市立中央公民館 多目的ホールにて(参加者42名) ○グループワークによる情報交換会及び全体会 市内在住のひょうご防災リーダー講座修了者及び受講中の方を対象に情報交換会と研修会の案内を送り、防災リーダーの役割を再確認した。当初計画した時には、ひょうご防災リーダー講座が無い日程で設定したが、台風等の影響でリーダー講座と日程が重なったため、受講中の方の出席が叶わなかった。参加者は、概ねまちづくり協議会単位に分かれて、地域の防災活動の進捗状況を情報交換し、地域防災活動に携わる者同士、交流をもった。</p> <p>○研修会では以下の3つのメニューをこなした。 ①総合防災課 市場氏による出前講座を受講 ②「避難行動訓練EVAG(イーバグ)」体験 ③参加者対象のアンケート実施 ○情報交換会実施結果報告書の送付 参加者からアンケートで寄せられた、宝塚市の災害対策に関する質問について、正しく周知するために、宝塚市総合防災課に回答を求め、会で作成する報告書に掲載。参加した方にも、参加できなかった方にも、報告書として送付し、市民が疑問に思いがちな市の災害対策を正しく周知できるよう努めた。</p>	<p>・ひょうご防災リーダー講座修了者同士のつながりを新たに構築することで、災害発生時の共助の一役を担うことができるようになる。また、日々変化する防災情報の提供や新たに開発された防災教材情報を修了者に提供することにより、地域の防災リーダーとしての活動を活性化することができる。</p> <p>・日頃の地域ごとの活動はもとより、市域全体の繋がる場を提供することで、市域全体の防災力の平準化を図り、宝塚市の防災力のポトムアップにつながると思われる。</p>	<p>(総合防災課) 宝塚・防災リーダーの会は、市内で地域に密着した防災活動を行うために平成23年2月に設立された会です。まちづくり協議会や自治会、市内企業から、防災訓練や防災講座の依頼が本市にあった際、「宝塚防災アドバイザー」として宝塚・防災リーダーの会が担っていただいているほか、「総合防災訓練」や「宝塚・防災ラジオdeウォーク」の運営、「職員向け避難所運営訓練」でもご協力をいただいています。会員全員が宝塚市民で、現在の会員数は36名、兵庫県が開催する「ひょうご防災リーダー講座」の課程を修了された方です。</p> <p>「ひょうご防災リーダー講座」は地域防災の担い手の育成を目的としており、兵庫県が平成16年より毎年開催しています。半年間の講座終了時に修了者の名簿を提供していただき、本市在住の該当者は168名(※)であることは把握していますが、宝塚・防災リーダーの会に入会されていない約130名(※)の方は、地域内で防災の活動をされていたとしても個別には把握できていませんでしたが、出席者33人のうち、非会員の参加者が半数の16人、うち4人が今回をきっかけに同会に入会したことから、大きな効果があったと言えます。(※R2年2月現在)</p> <p>今回の取組により、「自身の防災力を高め、地域に貢献したい」という共通の志を持っていらっしゃる方へ、防災知識の更なるスキルアップと情報共有をしたうえでその知識を活かし、市内それぞれの地域で防災訓練やマニュアル作成などの活動を行い、更には、近年日本各地で突発的に発生している地震・豪雨災害に、自助や共助の力で備えることができ、大いに市民の防災力の向上にも寄与するもので、総合防災課としても大変有難い取組と考えています。</p>	<p>・阪神淡路大震災から月日が経過し、近年「防災・減災」についての意識が希薄になりがちであるが、日本列島全体において地震の回数は増加傾向であることは否めません。よって、「ひょうご防災リーダー講座」修了者という非常に意識の高い方々が中心となって集い、「防災・減災」への取り組みに対して交流の場を持って情報交換されたことの意義は大きいと思われま。今後は当リーダー講座修了者の方々が市内の各地域・コミュニティにおいて具体的に活動いただくことが望めます。</p> <p>・年々甚大な自然災害が発生するなか、市民の防災に対する理解が必要とされている。このような団体の活動は貴重であり、一人でも多く防災に対する理解を深めてくれることを期待します。</p> <p>・新たな防災リーダーの発掘の成果につながる有意義な活動をしていただきました。</p> <p>・宝塚防災リーダーの会の加入が進む等良い効果が得られたと思います。今後の活動の継続をお願いします。市民レベルでの防災活動の活性化のために、市としても積極的な支援を望みます。</p> <p>・ひょうご防災リーダーの修了生については、知識と経験を活かした活動をして欲しいという強い思いがあります。修了生の自発性だけに依拠せず、県と市が連携して人材を活用するという連携を強化するよう、市としても働きかけるよう取り組みを進めてください。</p>
3	長尾地区まちづくり協議会	73,000	<p>・事業の実施時期＝2019.4～2020.3 ・4/23 第4回実行委員会 長尾ふれあいひろば 8名 ホームページ内容確認 ・6/18 第5回実行委員会 長尾ふれあいひろば 6名 掲載予定者に可否を取る ・8/6 第6回実行委員会 長尾ふれあいひろば 6名 内容確認 印刷業者選択 ・10/8 子育て支援ネットワーク会議 長尾ふれあいひろば 27名 意見交換 ・11/26 打ち合わせ 長尾ふれあいひろば 6名 最終内容確認 ・12/17 印刷業者決定 ネット申し込み 長尾地区センター 3名 ・1/15 冊子、チラシ配布先仕分け 古田宅 6名 ・1/28 冊子にシール貼り付け 古田宅 8名 ・1/29,30 市役所等地域内57ヶ所に配送 3名 ・3/19 冊子増刷(300冊)決定 ・3/24 冊子印刷申込</p>	<p>・毎年1年に一回のネットワーク会議が子育て情報ガイドを作成したことにより2月から約530名の閲覧があった。</p> <p>・長尾地区は子育て世代が増加しておりこの冊子を利用して情報交換が深まっている。</p> <p>・掲載した諸団体のアピールにもなった。</p> <p>・まちづくり協議会の活動の担い手不足と言われる中、若い方の先進的な力を借りることが出来、今後も活動の協力を繋げたい。</p>	<p>(子ども家庭支援センター) 子育て世代が増加傾向にある長尾地区に特化した子育て情報ガイドを作成されたことにより、情報交換や人的交流が促進されたとともに、ホームページで同冊子を閲覧できるなど、インターネットを活用する若い世代の視線を取り入れられたと評価できます。また、作成にあたって、子育ての実情を知っている若い世代や中筋児童館も加わるなど、地域活動の課題の一つである担い手不足に対して、地域でのつながりが強まる機会になったと考えます。</p>	<p>・本事業は、子育て世代の情報入手・交換・共有の媒体としてホームページと冊子の作成に尽力され、大きな効果を上げられており高く評価します。この活動が他の地域にも広がることを期待します。</p> <p>・子育て世代が増加傾向にある地区において、インターネットを活用するきずなづくりの形を形とされています。</p> <p>・子育てのための情報交換、きずなづくりに役立つ活動をさせていただきました。</p> <p>・孤立しがちな子育て世帯を支援するニーズに合ったとても良い事業が出来たと思います。今後もぜひ継続した取り組みをお願いします。市には、この事業をモデルに、このような取り組みが全市に広がるよう他地区への働きかけを望みます。</p> <p>・当事者が自分の欲しい情報をまとめ、欲しい世代に拡げるというのは、子育て世代でも、自治体・個人・企業・NPO等でもよく取り組まれている事業です。しかしながら、「当事者性」が薄れてくると事業が継続・発展しないという欠点もあります。どうすれば継続・発展できるのかという課題を含めて今後の事業を展開されていくことを期待します。</p>

No.	申込団体名	確定額 (円)	自己評価		評価	
			事業内容	効果	関係課意見	審査会意見
4	ゆいまーる	23,000	<p>4月24日(水)宝塚市立中央公民館・テーマ「発会式&交流会」・参加者10名 5月22日(水)宝塚市立中央公民館・テーマ「便利グッズ等」・参加者10名 6月26日(水)宝塚市立中央公民館・テーマ「情報交換会」・参加者10名 7月24日(水)宝塚市立中央公民館・テーマ「便利な新製品について」・参加者10名 8月28日(水)宝塚市立中央公民館・テーマ「使える制度について」・参加者10名 9月25日(水)宝塚市立中央公民館・テーマ「情報交換会」・参加者10名 10月23日(水)宝塚市立中央公民館・テーマ「氣功教室」・参加者10名 11月27日(水)宝塚市立中央公民館・ふれあいトーク「介護保険について」・参加者10名 12月25日(水)宝塚市立中央公民館・テーマ「氣功教室」・参加者8名 1月22日(水)宝塚市立中央公民館・テーマ「交流会&情報交換会」・参加者10名 2月26日(水)宝塚市立中央公民館・テーマ「アロマ教室」・参加者7名 3月25日(水)宝塚市立中央公民館・ふれあいトーク「同行援護について」・中止</p>	<p>参加する事により視覚障害者の外出機会が増えました。また、制度内容について各当事者によって理解度に温度差がありましたが均等化されました。さらに、視覚障害者をサポートしてくれるボランティアとの絆も深まりました。</p>	<p>(障害福祉課) 視覚障害者等の外出機会の増大により、地域と接点を持つことは、障害者が安心して暮らせる社会を推し進めるうえで、極めて有効的であると考えております。今後も継続的に事業へ参加して頂き、多様な情報を取り入れ、少しでも本人の生きがいや自立につながることを期待いたします。</p>	<p>・本事業は、障がい者方々の外出機会を支援する取り組みとして、様々なテーマを企画し、実施されたことを高く評価します。今後も当事業のような活動が継続されることを期待します。</p> <p>・障がいを持つ方々の外出機会の増加だけでなく、サポートするボランティアの方々の理解が深まり有益な事業となったのではないのでしょうか。</p> <p>・最後の1回はコロナで中止になったようですが、月1回のペースで活動いただき、とても有意義な活動をしていただきました。</p> <p>・共生社会づくりに向けて、参加の機会を増やす良い事業になったと思います。より広い参加に向けた次の展開を検討ください。</p> <p>・毎月こうした活動を展開できていることに主催者の意欲を感じます。さらに参加者が増えていくことを期待します。</p>
5	清荒神ブロードキャストミーティング	200,000	<p>【清荒神リュックサックマーケット】 出店料無料、事前申し込み不要のお気軽マーケット。特別な許可や資格がなくても、子供連れでも子供だけでも、誰でも気軽に出店できる。マーケットは楽市楽座でありコミュニケーションの場でありまちの起源である、誰でも参加できるマーケットはこれからのまちを考える場なのです。</p> <p>開催日: 9月29日(6月30日は雨により中止、3月29日はCOVID-19により中止) 場所: 清荒神参道イベント広場 集客: 100人程度</p> <p>【まちのあり方考える講演会】 「SAD PARK WANTS YOU!!」 地域に住む人に地域の広場を自分発信で使ってもらう手助けをするワークショップ 清荒神ブロードキャスト以外の地域住民が、個々人でイベントを開催していたら、とても賑やかで素敵なマチになるのでは?というチャレンジ的な企画 以下、告知チラシより 昔はたくさんの人で賑わっていた清荒神。いまは、平日は多くの人が働きに出かけ、休日にもほとんどの人が都心に遊びに出かけています。この場所に限った話ではありませんが、そんなまちにある広場は、みなさんを待っています。 「やってみたいことはあるけど、まず何をしたらいいかわからない」というあなた! そんなモヤモヤを解決するための手助けをするワークショップです。</p> <p>開催日時: 2020年2月2日(日) 13時~17時半頃 場所: INCLINE KIYOSHIKJOIN と 参道イベント広場 集客: 25人</p> <p>【やってくる! シリーズ】 清荒神参道はお土産産物店であり、近隣住民が日常の買い物をするお店はとも少ないです。なので、地域の住民が欲しいお店がもしできたら! をシュミレーションするべく、実際のお店を1日限定のイベントで呼んで来てしまおう! という企画です。</p> <p>開催日: 9月29日(パン屋がやってくる!) 11月24日(パン屋とスープがやってくる!) 場所: 清荒神参道イベント広場 集客: 100人程度</p> <p>どちらの開催日もパンは即時完売した。</p>	<p>・定期的にマーケットを開催することにより、人の流れができ今まで清荒神に縁のなかった若年層に参道商店街や清荒神の現状を知ってもらうきっかけができた。</p> <p>・人が集まることで参道商店街の集客が増えた。</p> <p>・市民間の多世代交流、参道で暮らす人たちと外部から来た人との交流ができた。</p> <p>・清荒神参道の魅力を発信した。</p> <p>・清荒神参道の認知度が上がった。</p> <p>・「SAD PARK WANTS YOU!!」により、潜在的なマチのプレイヤーが見えてきた。</p> <p>・「やってくるシリーズ!」により、パン屋のニーズが浮き彫りになった。</p>	<p>(商工労働課) 今回の事業により、様々な方に清荒神を訪れていたいただき、清荒神参道商店街の魅力を多くの人に知ってもらうきっかけとなり、集客に寄与したものと考えます。 また、今まで清荒神になかったお店の需要を新たに発見でき、そういったお店の出店を促すため、本市で運用している空き店舗活用事業補助金、空き店舗等出店促進補助金の周知を徹底し、今後より一層清荒神参道の活性化に向けて取り組んでいきます。</p>	<p>・本事業の取り組みが、近年、清荒神駅前・参道商店街の空き家・シャッター通り問題の解決策のきっかけの一助となったことは大いに評価できます。さらに若者世代の視点を取り込んだことで、清荒神境界の新たな魅力の発見、発信にもつながっており、今後は当事業がまちづくり、駅前再開発の観点も含めて取り組んでもらえることを期待します。</p> <p>・寂しくなりつつある地域に、新たなアイデアが加わったことによる活性化が期待できる。活気ある清荒神を取り戻す一助になるよう期待します。</p> <p>・清荒神参道の魅力を外部に発信するとともに、内部の交流も促進する有意義な活動をしていただきました。</p> <p>・まちの活性化に向けた地域住民を巻き込んだとてもおもしろい事業になったと思います。ぜひ今後とも継続した取り組みを進めてください。</p> <p>・若い世代の発想と行動力には応募の段階から大きな期待感がありました。この事業は補助金に関わらずずっと継続的に行っていただきたいと思っています。今後の展開が楽しみです。</p>

No.	申込団体名	確定額 (円)	自己評価		評価	
			事業内容	効果	関係課意見	審査会意見
6	高司つくし会	300,000	<p>・6月24日(月)8時～13時頃“皆で「コロケ」作ってみよう”高司会館 昨年同様に4～6名のグループ分けて、11班に分かれ(昨年8班)、1258個のコロケを作り、地区の高齢者宅167宅(1人、2人暮らしのお年寄り)へ民生・自治会を通じ配宅する</p> <p>・7月28日(日)11:00～13:30ソーメン流し、素戔鳴神社境内 ボランティア35名(昨年28名)が8時～竹トコ作り、ソーメン300束を湯がし、老人会の皆さん、約50名、子供達・保護者約100名が参加。盛大に開催、今年は宿題やろう会が無く心配しましたが、例年通りの参加がありました。</p> <p>・12月21日(土)ミニ門松・しめ縄作り10時～高司会館、子供38名、父兄19名、フタツ20名、計77名 例年通りミニ門松・しめ縄をボランティアの“おじいさん”に教わり、昼食して終了。又、ボランティアの人も後々楽しむ。</p> <p>・12月28日(土)8時～14時頃 高司会館、ボランティア60名、50臼と機械10臼、キネ40臼を… 例年通り“お餅、カイロ、ミカン、山椒おこわ”を入れたバックを、民生63、自治会15、美幸町40、関係者合計295セット配布</p>	<p>・年々、高齢者・子供たちの声掛けが多くなり、イベント外のカラオケ利用者(会館で歌い放題200円)増大、又、健康体操、マージャン等、楽しむ人達が増加。</p> <p>・高司つくし会“あるいて健康になろう会”も立ち上げ観光バスツアー(鳥取砂丘や天橋立)への募集をすると、バス2台(100名)の参加となり、地区で楽しむ仲間等が増加。</p> <p>・一方、資金集めに関して「つくし会」のイベントは全て無料は、この資金集め…古紙回収、アルミ缶回収、公園整備などの作業、ボランティアの貢献が大である。…協力的な活動・進化がある。</p> <p>・手助けの情報も増加して、地域の支え合いが現実化に進みつつあります。</p> <p>・自治会開催の盆踊りに関しても、大会の“悪”が不在。地区協力者は増となりました。参加人数は年々増となり、全てのイベントは活性化できるようになりつつ進化している！！</p> <p>・次年度は他地区と合わせ(玉瀬宇広畑→玉瀬営農組合)黒豆作り体験を打合せ終了に計画に入れたい(令和2年1月29日)。</p>	<p>(地域福祉課) 年々参加される方も増え、多世代の方が関わり、コロケや、ソーメン流しの準備などの間も和気あいあいと作業されていて、情報交換の場になっています。毎年、多くの子どもや、子育て世代の方が参加されお手伝いもされており、良い事業になっています。イベントを通じて地域の顔の見える関係づくりもでき、独居高齢者等への訪問により、地域の見守り活動にもつながっています。気軽に参加できる行事を通じて、次世代の担い手の発掘にもなり、他の地域にもこのような事業が広まれば良いと思うモデル的な事業です。</p>	<p>・本事業は、年々、地元の皆さんが主体的・積極的になって地域の中で活発に取り組んでいることが明らかであり、高く評価します。このような地域活動の取り組みが市内の自治会、コミュニティでますます増えることを期待します。</p> <p>・活気あふれる様子が浮かんできます。年代を問わず互いに助け合う精神が育まれる良い事業だと思えます。</p> <p>・バスツアーに100人が参加されたというのに驚きました。毎年の活動により、地域の絆作りが着実に進んでいると感じます。</p> <p>・回数を重ねることで着実につながりが広く、太くなっていると感じました。これをWithコロナ時代の新しいつながりづくりの取り組みにつなげていただきたいと思います。ようお願いします。</p> <p>・担当課の言われるように、この地域の取り組みは自治会のモデルケースとしても広げて欲しい事業です。中心となる方々の努力だけに頼ることなく、市としても今後どうサポートできるか、議論していくことが必要だと思います。</p>

No.	申込団体名	確定額 (円)	自己評価		評価	
			事業内容	効果	関係課意見	審査会意見
7	宝塚市民生委員・児童委員連合会	300,000	<p>1.民生委員・児童委員の日啓発講演会の実施。 ・聴導犬のデモンストレーションを含む啓発講演および手話講座の実施 補助犬(聴導犬)への理解を深め、障がいのある方の実情を理解し、また、手話講座を開催し、手話言語条例のまち宝塚として、思いやり・支え合いの心を広げる活動を推進する。 日時 5月12日(日)、場所 中央公民館 内容 (1)講演「聴導犬と暮らして」講師 特定非営利活動法人MAMIE 理事長 安藤美紀氏、安藤一成氏 聴覚障がい者としての体験談と、聴導犬デモンストレーション、安藤一成氏の手話歌を通じて手話や聴導犬に親しんだ。 (2)手話を学ぼう 講師 宝塚市障導福祉課 笹倉 博巳氏 宝塚市障導福祉課の指導により、「ふるさと」「宝塚市歌」手話を体験。より身近に手話を感じる学習会となった。この学習を、11月手話発表会に生かす。 (3)バザー バザーを開催。収益は善意銀行に寄付。5月12日民生委員の日および12月8日障害者週間記念事業においてバザーを実施、売り上げを善意銀行に寄付した。 2.防災学習会の実施。 災害時要援護者の安否確認と避難所開設について、総合防災課、地域福祉課と連携し、いずれ来る大災害に備え、また、思いやり・支え合いの心、地域の輪づくりを行うことを目的とする学習会を実施した。併せて、民生児童委員と自治会とが誰かが安心できる地域防災について学習した。 日時 6月7日(金)13時半から、場所 総合福祉センター大ホール他 内容 講演「平常時・災害時の民生委員と地域関係機関の連携」 講師 佛教大学 福祉教育開発センター講師 後藤至功氏 参加者 民生児童委員、自治会連合会、自治会ネットワーク、宝塚広域ボランティア連合 3.子ども未来部と連携して児童虐待防止オレンジリボンキャンペーンを実施。 児童虐待防止と被災地支援を行うコンサートを開催し広く市民への啓発を行った。 オレンジネット・被災地支援コンサート 演奏者 林誠氏、阪本朋子氏、クオレ 日時 10月29日(火)12:00~12:45、場所 宝塚市役所市民ホール 4.宝同協人権標語に積極的に応募し、標語作品をしおりにて配布。人権意識を高める取り組みを行った。 5.安否確認訓練の実施 市総合防災訓練に合わせ、先に作成した安否確認行動計画書をもとに安否確認訓練を行う。 日時 11月15日(月)13時半から、場所 宝塚市役所会議室 6.その他 ・ナビネット祭りに参加協力 株式会社ナビックが開催する子どもたちを対象としたイベントに参加協力し、子どもたちの楽しい遊びを通じて民生委員・児童委員活動の啓発を実施。併せて思いやり・支え合いバッジを配布した。 日時 5月25日、場所 末広中央公園 ・地域福祉課、障導福祉課、介護保険課とともに災害時要援護者リストの更新作業を進め、対象者の訪問調査を実施。</p>	<p>エイジフレンドリーシティを目指したそれぞれの活動を通じて、行政の担当部署や様々な団体との連携を深めることができた。</p> <p>1.民生委員・児童委員の日啓発講演会の実施 聴覚障害を持つ方の苦労を理解し、補助犬についてや、手話を学ぶことで障害がある人もない人もともに支え合う市地域社会への意識が芽生えた。 2.防災学習会の実施 防災学習会を通じて、自治会と民生児童委員との共通の認識を深めることで、地域での防災・減災の意識を高めることができた。 3.児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン 児童虐待防止のマスクおよびチラシを配布し、市民に専用ダイヤル189の周知や市家庭児童相談室の事業にあわせた啓発を行うことができた。 4.宝同協人権標語作品をしおりにて配布 人権標語を作成することにより、人権意識を高めることができた。 5.安否確認訓練の実施 安否確認訓練を行うことにより、実際に災害が起きた際に冷静な行動をいち早く備えることができる。 6.その他 子育て世代への啓発を行うことで、地域で頼れる民生委員をPRし、災害時要援護者支援を行う上で重要な地域のつながりづくりの一助となった。</p>	<p>(地域福祉課) 思いやり・支え合いバッジを作成し、配布するだけでなく、様々な啓発イベントや、学習会、訓練の実施などを積極的に実施されました。 災害時要援護者支援制度の取組では安否確認と避難所開設について学ばれ市総合防災訓練時に安否確認訓練をされました。 共生型の地域づくりを意識された、そこに住むすべての方が安心して住み続けられるまちの実現に向け、年間を通じて工夫した活動を実施され、地域の方や、事業所、行政と協働で取り組まれています。</p>	<p>・前年度の啓発バッジの作成・配布に続き、今年度は数々の講演会、バザー等、さらに広く市民へ周知する努力・工夫をしておられたことを高く評価します。今後も所管課と連携して活動を広げていかれることを期待します。 ・民生委員の理解が深まると同時に、思いやり・支え合いバッジをきっかけに共生の意識を高める良い事業だと思えます。 ・多岐にわたる有意義な活動をしていただきました。 ・思いやり・支え合いバッジをベースに、様々な取り組みを行われたことでお互いに気に掛け合う関係づくりが広がっています。Withコロナ時代に合わせた新しい取り組みについてもよろしく願います。</p>

No.	申込団体名	確定額 (円)	自己評価		評価	
			事業内容	効果	関係課意見	審査会意見
8	たからづか ファミリーホリ Day!	52,000	<p><地域ふれあい教室> 実際に体を動かしたり、参加者同士がスキンシップを取れるようなイベントとする。 2019年5月26日 親子ふれあいヨガ体験(売布会館、7組25名・1家族500円) 2019年6月9日 親子ふれあいツボ押し教室(中山寺会館、5組15名・1家族500円) 2019年7月14日 即席!うたうた合唱団(山本わいわい館、19名・1人300円) 2019年11月2日 アトム体操&人間あやとりで遊ぼう!(宝塚市スポーツセンター柔道場、10名・無料) 2020年2月29日【中止】人間あやとりで遊ぼう!(中央公民館で開催予定でしたがコロナのため中止)</p> <p><地域ふれあいワークショップ> むかし遊びや工作などのもの作りを行う。</p> <p>2019年9月1日 親子で作ろう!むかしあそび工作(中央公民館、7組30名・1セット300円) 2019年12月21日 しめなわづくりワークショップ(ごいっしょに集会所、10組44名・1セット1,000円)</p> <p><イベント後の軽食交流会、ふれあいルーム></p> <p>2019年7月14日 合唱イベント後開催・地域食堂を共催(主催:地域食堂「ふらっとおいで」) 2019年12月21日 しめなわづくり後開催・縁卓ごはんを共催(主催:縁卓ごはんの会)</p>	<p>この事業を行った事により得られた一番の成果は、活動を通じて私たち自身の輪が広がり、結果的に活動者同士の横の繋がりが広がったことである。市民団体、個人のプレイヤーなどさまざまな活動者が、今まで繋がりがなくても繋がれなかった人と出会い、同じ志を共有し、共感し合うことで、宝塚の子育てをよくしたい、という想い、住みやすいまちにしたい、という想いをそれぞれが膨らませ、活動に反映させる事で、結果的に、孤独な子育てや、情報不足による不安、コミュニケーション不足を解決する「居場所づくり」の担い手を発掘するためのプラットフォームとして機能できたと感じている。</p> <p>また、ファミリーホリDayを通じてエイジフレンドリーシティ宝塚の取り組みを知ってもらい、実際に縁卓会議に参加して下さったり、すでに活動をしているプレイヤーでも、地域や市に目を向けて活動の幅を広げるなど、変容を感じる事ができた。</p> <p>そして、この1年で100名を超える市民と出会い、コミュニケーションを取ることで、また新たな視界が広がりました。参加者に、こんなイベントを探していた、という声をいただいたり、次はいつやるの?と声をかけて下さったりと、持続のためのモチベーションを上げる事ができた。</p> <p>休日開催で母親以外の家族の参加も多く、また、休日の居場所を探していたという声も聞く事ができた。改めて、自分ごとが地域や人のためになる事を実感する事ができた。今後は、参加者同士がもっとコミュニケーションを円滑に取れるように地域食堂との連携を強化、また世代を縛らず、幅広いコミュニティづくりに注力していきたい。</p>	<p>(地域福祉課)</p> <p>月に一度、市内の様々な施設で子どもや子育て世代が楽しめるイベントを行い、色々な地域で沢山の人が参加されていました。また、地域食堂などと協力し、同時開催することにより多世代交流の場にもなっていました。</p> <p>何か活動を行いたい方にアドバイスしたり、繋がりを広げることでより活動を開始された方もおられます。今後も多世代交流や、活動者のつながりの場になるような事業を期待します。</p>	<p>・本事業は、親子をテーマにした様々なイベント・活動を企画・実施しており、市内の多くの子どもと親のきずなづくりに貢献したことは大いに評価します。また、休日開催を通じて多世代交流に結びついたことも良かったと思われれます。今回をきっかけにして、今後はさらに当団体の取り組みや活動を知ってもらう工夫も必要でしょう。申し込み団体No.3の「長尾地区まちづくり協議会」との連携も可能ではないでしょうか。</p> <p>・特定の地域にとらわれず活動されている点を評価したい。事業を通じて幅広い地域の方々繋がりが期待します。</p> <p>・毎月、地域の方々の絆が広がり深まる有意義な活動をしていただきました。</p> <p>・孤立しがちな子育て世帯をつなぐ良い事業が出来たと思います。加えて支援者のつながりも広がり、今後に期待が持てます。今後も、地域とのつながりづくりを意識した活動の展開を期待しています。</p>
9	宝塚市花のみち 自治会	200,000	<p>実施時期:平成31年4月5日～令和元年12月10日(約8か月) 場所:花のみち西側入口から歌劇正門 内容:25点の水彩画(下記処理を施した)展示 屋外展示(太陽光・風雨に耐える必要がある)で期間も長いので、原画を展示するわけにいかず、原画を写真撮影してデジタル化し、それを元にデジタルプリントし、3mm厚のアルミ合金複合パネルにUVラミネート塩ビ加工を採用した。 参加人数(展示物を目にした人):50万人(歌劇入場者130万人/年+地域住民通行者から推定)</p>	<p>・文化・芸術の街を標榜している宝塚市のイメージアップに少しは貢献できた。</p> <p>・殺風景な街並みに少しでも安らぎを与えられた。</p> <p>・長期展示で作品が劣化するのではないかと危惧したが、原画から展示物までに適切な処理を施せば問題ないことがわかった。この製作プロセスのマニュアルを作り、今後同様な工事現場の環境向上の一例として参考にもなればありがたい。</p> <p>・絵画、芸術を身近に感じてもらった。</p> <p>・花のみち界隈でスケッチする人が増えた。</p> <p>・外を歩きながら絵を見れるのが良かった。</p>	<p>(文化政策課)</p> <p>新宝塚ホテルの工事の防護壁で殺風景な景観を解消するために企画された催しで、花のみちや本市にちなんだ風景画を屋外展示することによって、通行人の誰もが文化芸術に親しむことのできる機会を提供することができたと考えられます。また、本市のメインストリートである花のみち沿いの景観を賑やかにすることは、「文化・芸術のまち」としての本市のイメージ向上にもつながったと思われれます。</p>	<p>・本事業は、本来であれば工事防護壁という殺風景な景観を見事にアートに変化させるユニークな企画として素晴らしい、大いに評価します。とりわけ場所が「花のみち」であったことから、本市の文化芸術のイメージアップに貢献したと思われれます。今後、市内の工事の防護壁の対策として今回のような手法を取り入れることも考慮されてはいかがでしょうか。</p> <p>・通行人の方に楽しんでもらえる、効果的な事業であったと思う。この事業をヒントに、他の地域でも文化・芸術の街としての宝塚をアピールしていきたい。</p> <p>・私も実際に拝見しました。文化芸術のまち宝塚らしさを内外にアピールできる有意義な活動をしていただきました。</p> <p>・市民による文化事業の取り組みとして、とても面白い着眼点であったと思います。このような取り組みが他地区にも広がるよう、市と協働した発信を期待します。</p>

No.	申込団体名	確定額 (円)	自己評価		評価	
			事業内容	効果	関係課意見	審査会意見
10	宝塚景観まちあるき会	300,000	<p>準備作業……4月～6月 景観まちあるき募集(公募とリピーター) 約88名参加。(一般参加72名、スタッフ会員参加16名)</p> <p>1. 宝塚北部(西谷)地域景観構造調査とガイドマップ作製……6月～12月 景観構造調査とまちあるきコース案作成。西谷のスタッフ会員を含めて約9名×6回調査。延べ55名参加。</p> <p>2. 景観まちあるき……6月～2月まで8回 原則毎月(8月を除く)第2水曜日に実施。各回会員数名が要所で解説しながら歩く。また昼食休憩時には参加者相互の意見交換などを行い景観に関する理解とまちづくりへの活用策提案などにつなげていく。合計活動人数約570名</p> <p>3. 宝塚の景観の魅力と課題整理と景観から見た宝塚のあり方提案……12月～2月にかけてスタッフ会員による取りまとめ作業を行う。延べ103名参加</p> <p>4-1. 宝塚景観まちあるきガイドマップ2020全市版作成および印刷・発行……A1判両面カラー印刷マップ折2000部及び宝塚景観への提案冊子1000部を作成。</p> <p>4-2. 取りまとめと事業PRとして第3回宝塚景観フォーラムを3/14に予定していたが、新型コロナウイルスの関係で延期とした。</p>	<p>①宝塚の重要な資源であり魅力として「景観」が再認識され、それを形作っている地形や地勢が新たな都市づくりの重要な要素として活用が期待できる。</p> <p>②同様に西谷地区が宝塚市にとって重要な地区であり、多様な付加価値のある地区であることがアピールでき、教育、福祉、まちあるき、様々な体験活動、環境学習、新産業立地、観光、テレワークなどの活用が期待される。</p> <p>③ガイドマップを活用した様々なまちあるきを通じて、健康増進、まちや地域の学習、市民交流、誘客、休憩・サービス店の活性化など多くの効果が期待できる。</p> <p>④自分たちの住み活動する都市の状況を体感することにより、都市づくりの課題発見、魅力や誇り発掘などができ、市民主導の都市づくり機運が高まる。</p> <p>⑤これらのツールが起爆剤となり新たな魅力探しや市民交流が進み宝塚の再生・活性化に寄与することになる。</p>	<p>(都市計画課) H30年度に引き続き活動していただきました。 R1年度は、新たな会員を募集し、昨年完成させた「宝塚景観まち歩きガイドマップ」で紹介したお勤めの景観ポイントを巡るまち歩きツアーを開催し、実際に体験していただくことで宝塚の景観の魅力をアピールしていただきました。また、まちあるきガイドマップの改訂作業を行いました。「宝塚景観まち歩きガイドマップ2020」として、去年度作成された冊子を活用し、西谷地域の内容を盛り込み、A1用紙両面にまとめ、より気軽に手に取ってもらえるよう工夫されています。 活動のまとめと事業のPRを行うフォーラムは延期となりましたが、8月末に開催予定です。→8月29日に開催されました。</p>	<p>・本事業は、毎年、実績を積み重ねており、今回はとりわけ西谷地区を中心とした当地域の景観の魅力を見事に掘り起こして、まちあるきの活動、そして冊子やマップにまとめて、市民に提供する企画として大いに評価します。今後も所管課と連携してさらに活動を広げていけることを期待します。</p> <p>・大勢の参加者が集まる事業で、市民の関心の高さがうかがえる。是非とも継続していただきたい事業であり、補助金がなくても継続できるような体制づくりに期待します。</p> <p>・毎年立派な成果物を作成いただけており、感服いたします。</p> <p>・ガイドマップとまち歩きツアー、とても完成度の高いものが出来たと思います。宝塚の魅力の発信を継続してお願いします。</p> <p>・主催されている方々の経年的な努力に対して敬意を表します。宝塚の魅力を市民自身が発見することはもとより、成果を全国的に広げるといふ取り組みも今後の事業にしていきたいと思います。</p>
11	宝塚にしたに里山ラボ	300,000	<p>●「にしたにおでかけレシピノート」(冊子)の制作 「景観と西谷の食(農産物)」をテーマに、西谷地域の景観とともに、景観の中で地産地消の食材を使った料理を食べるといふ新しい里山の楽しみ方をレシピとともに提案する冊子を制作 休日に西谷に出掛けたいというレシピ本を目指し、西谷の自然や農業、特産を象徴するような景観スポットの紹介、お出掛けにぴったりなおでかけレシピを宝塚市内の飲食店「つばめ軽食店」に提供いただき、掲載しました。また、今回は冊子だけではなく、おでかけレシピをアレンジし、家で楽しめるレシピをHP上で公開しました。 ・実施時期: 令和元年5月～令和2年3月末まで ・場所: 宝塚市山本及び西谷地域(冊子制作)に関する取材及び写真撮影、レシピ考案) ・配布: 3000部印刷、希望者及び宝塚市内公共施設等で配布、自団体のイベント等で配布 ・掲載実績: 読売新聞、神戸新聞、毎日新聞、J-com</p> <p>●景観資源発掘のための情報発信 西谷地域の情報や冊子の制作過程をホームページやSNS等で発信 ・実施時期: 令和元年4月～令和2年3月末まで ・HP、Facebook、Instagramを使用し、広く情報を発信した ・閲覧数: 延べ11,495人が閲覧 (HP: 4,049人、Facebook: 3,077人、Instagram: 4,369人) ・詳細: ターゲットの異なる媒体を利用し、より広く、多くの方に年間を通して西谷や冊子に親しみや関心を持っていただけるよう、西谷の情報や冊子制作の過程の情報を発信しました。</p> <p>●イベント「縁フェス」での景観・冊子に関する展示 イベント「縁フェス」において、西谷の景観及び冊子に関する展示、冊子の配布を行う予定でしたが、新型コロナウイルスのため、イベントが延期。 ・実施時期: 令和2年2月28日 ・場所: 中央公民館</p> <p>●西谷の農産物の植え付け体験イベントの開催 西谷地域において、冊子で紹介する農産物の植え付けが体験できるイベントの開催 ・令和元年6月16日開催を予定していましたが、畑が雨の影響でコンディションが悪く中止(予定参加人数: 12人)</p>	<p>昨年度は、景観とあそびをテーマに冊子を制作しました。大変嬉しい反響が多く、新聞などのメディアに取り上げていただき、西谷での楽しみ方を提案でき、西谷のPRとして認知度や興味の上昇、来訪に繋がりました。 私たちがこれまで2年間発行してきた「レシピノート」シリーズは、西谷の魅力である「農産物」をPRし、西谷の魅力の発掘、経済的効果である購買や認知度の向上に繋がるように制作しました。有難いことに、毎年発行を楽しみにしておられる方が増え、メディアなども取り上げられ、西谷の魅力を広く伝えることが出来ました。今年度はその「レシピノート」の新たな展開として、都市部からより西谷を訪れる人が増えるきっかけとなるよう、西谷の更なる魅力の発掘として、西谷の素晴らしい景観と農産物をテーマに冊子を制作しました。出掛けたい景色、その景色にぴったりな西谷のお野菜を使ったレシピを紹介した冊子が出来あがりしました。 レシピノートは、レシピを宝塚市内の飲食店の方と協働して開発しています。宝塚市内の飲食店と西谷の農産物が繋がることで、今後の農産物の販路や市場の拡大も期待できます。 これまで、景観に馴染みのなかった方にも、「食」という切り口から、西谷の景観に興味を持っていただき、景観に関する興味の上昇が期待できます。 さらに、西谷での新たな楽しみ方を、デザインに趣向を凝らし提案することは、これまで情報が届かなかった都市部の方々に情報や魅力を届ける機会となっています。阪神間だけではなく、大阪や遠くは海外にお住まいの方からも冊子に関する問い合わせをいただきました。それだけ多方面の方に情報が届いたことは、大きな成果であると実感しています。 また、今年度は市民協働課及び都市計画課の方のご支援もあり、令和元年度「人間サイズのまちづくり賞 知事賞」を受賞することが出来ました。デザインに趣向を凝らした新たな里山の楽しみ方の提案、都市部と里山のゆるやかな繋がりが評価され、賞を頂くことが出来ました。 本事業を含め、私たちの活動は都市部と西谷を繋ぐこと。これまでも多くの繋がるといふきっかけを創出できたと思います。魅力あふれる西谷を多くの方に知っていただき、訪れていただく。西谷地域の方には、更なる郷土愛を育むきっかけとなり、都市部と西谷が繋がることで、西谷を守り伝えていけることが出来ると信じ、活動により一層力を入れていきたいと思っています。</p>	<p>(都市計画課) H30年度に引き続き活動していただきました。 30代前後の若い世代を中心としたメンバーが精力的に活動されています。 今年度作成された冊子は、テーマを「景観と食」とし、西谷地域の素晴らしい景観の中で食を楽しむ写真や、料理のレシピ等が掲載されており、実際に訪れて体験してみたい内容に工夫されています。 イベントの中止等もありましたが、SNSやメディアを活用し、市内だけでなく市外の方にも情報発信を行われ、西谷の魅力を多くの方に紹介していただきました。</p>	<p>・本事業は、高齢化している地域住民と当地域の魅力を活かす若い世代の見事なコラボレーションによって様々な企画が生み出されており、高く評価します。そして、年々、当地域のイメージ、知名度の向上にも大いに貢献しておられます。今後もSNSやメディアのさらなる活用で、当地域の情報発信に尽力されることを期待します。</p> <p>・若い世代の方々のアイデアによる素晴らしいレシピノートが完成し、西谷の魅力を発信できたのではないのでしょうか。次は行政にも加わっていただき、西谷に訪れる方を受け入れる体制づくりに期待したい。</p> <p>・西谷の魅力を発信する有意義な活動で、さらに発信を促していただけたらと思います。</p> <p>・西谷の景観と食をつなぎ、冊子だけでなくHP等を活用して幅広い発信を進めてこられたこと、非常に優れた取り組みであったと思います。Withコロナの中での新しい提案を期待しています。</p> <p>・補助金事業のモデル事業といっても過言ではないこの事業。市内にとどまらず全国的に大きくPRすることが可能です。若い世代の熱意のある取り組みを継続・発展されることを期待します。</p>